京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

●上海の廣告税

上海の如く壁張廣告の盛に流行するは他に其類を見ず自治公所は茲に見る所あり此廣告に課税せば相應に收入を擧け得べしとなし議題として討議中なりしが愈よ地方税に編入し宣統三年より實施すべく可決せり今其徵收章程なるものを見るに先づ廣告の定義を下し自家以外の地區に在りて人をして注目を感覺せしむるものは紙、板、標記は無論或は動くもの動かざるもの均しく廣告なりとし城の區域內に廣告を張貼せんとする廣告者は自治公所に於て廣告稅票を購領すべし、廣告稅率は廣告紙營造尺長二尺巾一尺（營造尺一尺は英尺一尺四分）百張每に銀五十仙長三尺巾二尺のもの同七十五仙其以上長さを加へ巾を加ふるものは此の例に準ず而して外國人の廣告税は加倍徵收すること、貼紙廣告の期限は均しく一ヶ月を以て限りとす但劇場の廣告は三日を以て限りとす、木板、金屬、皮類製の廣告は特別廣告とし一ヶ月以上に超過することを得或は半年に至るものは臨時酌議す自治公所は廣告期限內保護の任に當り學堂、善堂等公益に關する廣告は別に定むる所の免稅票を給す、地方の治安及び風化を害する廣告は張貼を禁ず、税票を購領せずして廣告を張貼するものは罰金に處す云々とあり本税實施の期に至らば邦人側にて第一に苦痛を感ずるものは賣藥商ならん現に重なる賣藥商の市內に貼しつゝある廣告の狀況に推想せば年稅二三百元を超ゆるものあらん

●奉天引込線問題

曩て南滿、京奉兩鐵道間の交渉懸案となり居れる京奉線奉天城根引込問題は南滿線との交叉及び連絡方法に就て行惱み居れるが其後淸國側に於ても利害を考査し解決を希望するの情あり更に交渉の開始を見るべしといふ

●千圓の廣告畫

新聞を始め其他廣告に就て最も熱心なる東京三越呉服店にては今回一枚一千圓と云ふ破天荒なる懸賞金を以て以下五等まで斯の如き方法の下に一大募集の發表あり（一）明治四十四年春季賣出し廣告に用ゆる廣告畫の圖案を懸賞を以て募集す（二）圖案の樣式は隨意とす日本畫と油畫と水彩畫とを問はず直に印刷に付し得る樣充分なる彩色を施すを要す（三）圖案の大さは幅二尺五寸に縱三尺五寸とし成るべく美人を主題とせざるものにして其構圖彩色意匠すべて人目を惹き易きものを歡迎す（四）應募圖案は當店に於て之を審查し左の通り賞金を呈す（合計金千五百圓也）一等賞金一千圓一人、二等賞金二百圓一人、三等賞金一百圓一人、四等賞金五十圓一人、五等賞金廿五圓六人（五）應募圖案は明年二月廿日迄に堅固に封緘の上三越呉服店日比翁助宛に送られたし（六）應募圖案は總べ當店の廣告用に供することを豫め承諾せられたるものと認む（七）當選圖案は之を應募者に返却せずと雖も其他は五月一日以後需めによりて返却すること

●日露通運賃決定

明年二月一日より愈よ發賣せらるゝ事となりたる日露旅客通切符賃金は打合せの結果左の如く決定せり（單位錢）

▲新橋發大連經由聯絡賃金

到着地	急行列車一等賃金	普通列車三等賃金
イルクーツク	二〇〇、一五	五三、〇〇
莫斯科	三二〇、九五	八一、七五
聖彼得堡（モスコー經由）	三三四、四五	八五、五五
同（ウャツカ經由）	三三六、二五	八三、〇五
ワルシャワ	三四六、〇五	八九、三五
オデッサ	三四四、〇〇	九〇、一五

▲新橋發浦汐經由聯絡賃金

到着地	急行列車一等賃金	普通列車三等賃金
イルクーツク	一九六、二〇	四七、一〇
莫斯科	三一七、〇〇	七五、八〇
聖彼得堡（モスコー經由）	三三〇、五〇	七九、六〇
同（ウャツカ經由）	三三三、三〇	七七、一五
ワルシャワ	三四三、一〇	八三、四五
オデッサ	三四〇、〇五	八四、二〇

尚該聯絡通切符は內地に於ては平沼、京都、大阪、神戸、下關、長崎各驛にても發賣するものにして其の賃金は新橋と該驛間の汽車賃丈低減せらるべきものなりと

山中鹿之助

第四十六回 西尾麟慶演

鹿「武家も及ばぬ汝の膽力天晴である然らば此方も共々力を添ゐて甚怪物を退治してやらふ、今に出るであらふから心靜に待て居れ、と兩人は茲に待て居りまするに、彼是最早丑滿に近からんと云ふ頃に相成りますると谷間〴〵はゴウ〳〵として耳に聞へて、其物凄き事云はん方なく、其内に恐しき光り物、茂作の上を二三度飛びました、茂作は之を見るや否や鎌を持て之を切らんと致します、鹿之助之を制し 鹿「是れ〳〵慌るナ、其方では叶ん」と菊一文字の一刀を目釘をしめして待ち受けると、今度は茂作と鹿之助の間を飛び越しました、鹿之助此時拔手も見せず切つけた、キャッと云ふ一聲 鹿「夫れ逃すナ」と云ふより早く茂作が追討に鎌を持て切付けました凄まじい音が致しまして樹々の枝を打折、彼方へ飛ぶ樣子でありましたが、其後は何んの音も致しません、鹿之助は確かに手答致しましたから星に透して見ると切先は血が附て居ります 鹿「殘念なり惜は曲者を一太刀に討損じたるか」と思つて居りすると、最早其後は更に音もなく靜に相成りました、殆ど鷄鳴近くに相成りました、其内に夜はガラリと明はなれまして互ひに顏を見合せて 鹿「誠に殘念の次第であつた、併しながら多少曲者に傷を負したるに相違ない、シテ見れば血が引てあるだらふ、と能く見まするに木の根よりして彼方の岩角へ續ひて血しはが流れて居りまする、其の血しほのある通りに往きますると遙か彼方へ從つて夫より先は血しは見ゆれども、人間の足をもつて向ふへ渡る事の出來ない岩石谷を隔て居ります 鹿「殘念、惜は畜生彼方の谷へ飛越たものと見へる、何んとか致しかたはあるまいか」と茂作之を聞きまして 茂「夫れ持ちなさいまし」と傍らなる大木の根方にあつた藤蔓を鎌を以て引き契り、夫が大木の枝へ縋つて居りますから夫へ下つて身を躍らし、ヤッさ云ふと向ふの岩角へ飛びましたは蜘蛛の梢に巣をかけるが如く、人間業とは思はれません 軈て此の藤蔓を向ふの木の枝に縛りつけ、再び此の藤蔓へ摑つて元の處へ來り、五六本の藤蔓を一緒にしてモウ大丈夫になつたから 茂「旦那樣、之へ把つて御出でなさいまし落る氣遣ひは御座ひません 鹿「ウム能い工風だ」と大小を後に廻して、鹿之助も此の藤蔓を便りに辛ふじて向ふに至り谷間に下る、廻り〳〵て血の跡を慕ひ參りますると大なる岩穴が御座ひました、其岩穴の中へ血が引てあります 鹿「夫れ〳〵茂助、怪物は正に其内にあるに相違ない」心得たゞと茂作が鎌を持て其中へ這入ふとするから 鹿「ア、イヤ茂作暫く待て、中へ這入てはならん、迂濶に這入つては怪俄をする我に一の計略あり、其邊らより枯枝を集めろ」と云ふから茂作が數多の枯枝を集める、夫を穴の入口に積んで鹿之助用意の火打石にて火を點ボー〳〵と燃し、其上に青草を載ますると煙が濛々として穴に入る、世の中に獸類畜類に限らず火を怖れざるものはない、此の煙が穴へ這入るに從つて塒へ棄たるものと見へ、嘯いて其に飛出した獸類あり、夫れ逃すなど云ふより早く茂作鎌を持て打てかゝり、どッと夫へ一匹倒す、跡より又出るを鹿之助傍にあつて拔討に致すと、又も飛出し〳〵七匹に及びました、孰も三尺餘もある四足にして、口は耳まで裂け牙を出し虎の樣な形をして居る、最も痩せ髭を生じ其髭は針かと思ふばかり、眼は鈴の如くに致して爪は磨ぎての鎌の如く、以上七匹中の一匹は五尺餘もある、尾は二支になつて三尺に及ぶ、能く〳〵見るに山猫であります、恐しい猫もあればあるもので、何十年となく年を經たるものならんと思はれます、之を悉く藤蔓にからげて兩人打揃つて妙義村へ歸りました、サア村中の者は此の事を聞きまして大に驚き且つ喜び、一同大寄合を致しまして、夫より約束の通り名主九右衛門に村中で評判を致しまして名主役と田地を返す事になりました。

東京電報（廿四日）

▲聖上御全快　御風氣味にわたらせられしが御全快と承はる

▲宇佐川總裁出發　上京中なりし宇佐川東拓總裁は昨日新橋出發歸任の途に就けり

▲淺間山の小噴火　淺間山又々小噴火せしも大なる損害なし

雜報

●總督公使の會見

先頃來滯京し在留淸人の狀況視察中なりし淸國公使汪大燮氏は廿五日午前十時馬總領事廊通譯官を隨へ寺內總督を官邸に訪問し總督は小松外事局長と共に公使一行に會見十時半頃退邸したりと

●總督の兩宮參候

寺內總督は二十五日午前十一時外波武官同乘順路德壽宮に參候李太王殿下に謁見歸任の御挨拶を申上げたるに殿下には御機嫌斜ならず種々王世子殿下の御近狀やら東京の御模樣等打ち寬げて御對話ありたる後ち總督は馬車を昌德宮に廻はされ同宮秘苑內なる植物溫室に於て李王殿下に謁見し同様歸任の御挨拶を申上げたるに後午餐の御陪食を賜はり尙は山縣政務總監、外波武官、國分人事局長、秋山參事官、兒玉會計局長、津野中佐、藤田大尉等諸氏も陪食を仰付られ午後二時過ぎ歸還したりと

●寺內總督の訪問

寺內總督は二十六日午後二時半大久保軍司令官を大觀亭に訪問したり

●各官廳の御用納

總督府及各部其他諸官衙は本年內の御用納めは來る廿八日限りにして同日も殆ど執務なかるべしと云ふ

●韓漁業役員內定

韓海漁業株式會社が來春早々拂込を徵收し事業に着手することは既記せしが同事業は調査を遂るに從つて益々前途の有望を加ふるより將來事業を擴張すべき計畫にて目下着々準備中なるが役員として安藤謙助氏を社長に鶴原定吉氏を專務に佐竹作太郎氏を業務に夫々略ぼ內定せり

●水產研究會と福岡

明年一月廿五日より鹿兒島市に於て開くべき第四回朝鮮海水產研究會へ福岡縣より提出すべき問題は左の如し

一、朝鮮海水產組合議員は中途朝鮮居住者に限り選出することゝなりしが右は現今朝鮮海に出漁の關係ある各府縣よりも各一名宛選出するの必要あり右改正の件を總督府に建議すること

二、朝鮮海漁場に對し汽船トロール漁業禁止區域制限發布せられんことを朝鮮總督府に請願の件

●慈惠院分室設置

光州慈惠院は其開設以來多數患者に施療し一般鮮人間に非常に歡迎せられ居るが當局に於ては來年度各道の主要地に一二箇所の分室を設くるの案あり其れかあらぬか光州慈惠院の分室を近く木浦に新築せんとするの說あり附近の鮮人等右分室の一日も早く設置あるやう希望し居ると云ふ

●平壤の內地人數

平壤に於ける內地人營業別に關し民團役所最近の調査によればその重なる者の中にて最も多きは官公吏の五百六十八人乙種藝妓の百二十三人及び大工の百七八人雜貨商の六十三等にして總計千八百六十八名なり而して此內に百十四名の無職者あるは注意すべきことゝなり

●新義州開放決定

朝鮮新義州は愈明年一月一日を以て開港地として開放することに決定したりと

東拓改造に就きて（某官人談）

東洋拓殖會社が近々改造さるゝとは本當の事です、併し幾ら本當の事にしても同會社を改造するに付ては先以て東拓會社法を改正せねばなりません。扨政府は今議會に向つて東拓法の改正案を出すのでありますソレガドンナ程度の者であるかは今日の處未だ明瞭でありません、尤も自分の知つて居る範圍若しくは察し得る範圍に於ては今度の改正はツマリ同會社の事業部と金融部とを全然分離するか事宜によりては一方事業部を縮少し他方金融部を分離擴張して殆んど勸業銀行の如き組織となすかも知れません。右に對し會社重役等の意向如何と云ふに他の事は措き金融部の分離擴張に就いては全重役とも異議を挾まず特に金融に關係を有する某重役の如きは自家現在の位置の如きは問題とせずして熱心に分離擴張說を主張し居る程なのである序に申すが世間宇佐川總裁と吉原副總裁とが今度の改正に付て意見を異にするが如く傳ふる者がありますれど右は誤傳にして开は吉原氏が自家の都合上辭任を申出てたる爲め世人が揣摩臆說をなして斯る風說を造るに到つたのでありますと云々

●贈答全廢は虛說

頃日來年末贈答全廢に關し當局より官吏其他へ內訓ありし如く一般民間に傳へられ爲めに京城各商店より日本人商業會議所に對し電話を以て照會し來るもの多きにより商業會議所にては其筋に就いて調査したる處右は御用商人と官吏の間に於ける贈答品に對して之れを廢止すべき旨を通知したる向あれども是れとて或る部分に過ぎず一般官吏其他に關しては何等是れが內訓等を發したること無しとの回答を得たりと

●貨幣發行高週報

十八日より二十四日に至る貨幣發行高左の如し

銀行券發行平均高	一九、六八七、四七一
內正貨準備發行平均高	六、七四八、六〇七
保證準備發行平均高	一二、九三八、八六四
硬貨發行高（十二月二十六日現在）	八、二三九、一三〇
內金貨二十圓	一、九五〇、〇〇〇
同　十圓	五〇〇、〇〇〇
同　五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	一、三六八、〇〇〇
同　二十錢	二、〇五〇、〇〇〇
同　十錢	一、八九六、〇〇〇
白銅貨五錢	五七九、五〇〇
青銅貨一錢	三四八、一五〇
同　五厘	八二、四八〇

●民團々債の認可

京城民團が舊債を整理し財政を整理すべく豫て東洋拓殖會社に向て團債十三万七千三百五十圓の借入方を交涉し東拓の承諾を得て當局の承認申請中なりしが去る廿四日付を以て總督府より民團に對し團債借入の認可を與へたりと云ふ

●選擧名簿確定

當民團議員選擧名簿調製は廿五日を以て確定せり即ち京城側總數四千四百九十五人にして內民間側は二千八百九十四人官吏側一千六百〇一人なるが今是れを前回調査則ち去八月十九日現在に比すれば民間側にて五十八人を減じ官吏側に於ては百八十五人を減じ彼此合計二百三十五人の減少を示せり又龍山側は總員數九百五十人なるが這は前回調査に比し約七十人の增加を見るに到れり斯て今次の京龍間確定選擧名簿は五千四百四十五人なりとす

●選擧名簿縱覽

明年一月一日より七日まで民團役所に於て午前九時より午後四時まで縱覽を許すべしと

●議員定數の申請

當民團にては民團議員定數に付き去廿四日三十名とすべき旨京城府廳に申請せり

●鐵道速成の建議

京元、三南の兩鐵道は目下工事中にして着々進行しつゝあるも其竣成は十一ヶ年の繼續事業として豫算に計上されあるため交通機關の開發上かくては餘りに遲延するの嫌ひあり寺內總督も速成の方針に決し本年度豫算には總額斯間短縮の計畫を算定しある由なるが今回在朝鮮各商業會議所聯合會の決議を齎らして當局に交涉すべく上京せんとする山口太兵衞氏に托し尙聯合會は該兩線の速成を當局に請願すべく依囑したりと云ふ

●淸國公使の退京

淸國公使汪大燮氏は二十五日午後十時四十分南大門發車にて歸途に就けり停車場には倉富、宇佐美、小宮、明石、小松の諸氏及び市原韓銀總裁、淺野三井物產支配人其他在留淸人等見送り盛なりき當地總領事よりは陳翻譯官釜山迄見送りたり

●俵副總裁の東上

土地調査局副總裁俵孫一氏は二十五日午前九時南大門發車にて東上せり

●榊原少將の出發

廣島灣要塞司令官に補せられたる榊原少將は二十六日午前九時龍山發赴任の途に就けり大久保大將、松永師團長以下各將校の見送り盛んなりし

●佛國領事の更迭

京城駐在の佛國總領事館を撤退し領事館を新設する既報の如くなるが現任總領事ヘラン氏はパラグユー駐劄辨理公使に榮轉し後任領事は芝罘にありし領事グラン氏に決定し近々來着すべしと云ふ

民團議員豫選投票

賢明なる我が寺內總督は吾人移住民の集團的幸福を重んじ自治体存續の意味を以て今回民團議員改選の事を發令せらる、此の思慮ある總督の措置に付いては吾人は衷心より感謝せざる可らざると同時に來らんとする選擧を最も潔に最も平穩に行ひ一は異に有力なる良議員を擧げ以て總督政治の下に於ける自治体の發達を計り、他は總督府所在地住民としての面目を發揮し因つて以つて總督の深慮に應ふるところ無からざるべからずと信ず。

凡そ議員の選擧をして公明淸潔平穩に了らしめんとせば、其の最も排斥せざるべからざるところのものは、所謂自稱候補者の無意識なる運動と幷を助くる運動屋の運動となり、嗚呼無意識の運動、之れが發しては宴會政略となり、其最も甚しき者に到つては脅迫若しくは買收政略となる。如斯きは獨り民團の平和を害し、且つ其の面目を傷くるのみに止らずして實に法律及道德上の大罪を犯す。嗚呼本社が民團議員の選擧に關し惡德の行はるゝを憂ふるや久矣、故に之が絶滅を期せんとして今回の豫選投票を企つ其理由は大要左の如し

凡そ議員選擧混雜の原因として數ふべきものゝ多からんと雖も其最大原因たるや實に候補者の過多なるに存す、候補者徒らに過多にして競爭益々劇甚を致す茲に於てか紛亂醜穢其結果として行はる何ぞ怪しむを要せん、而らば之が救濟の途は如何、曰く、選擧に先ち與論を以て適任候補者を定め一は以て選擧有權者をして據るところを知らしめ他は以て幾多小野心家をして所謂當選運動の無效なるべきを自覺せしむるにあり。

本社豫選投票の趣旨は右の如し、江湖の諸君冀くば本社の微意を諒し左の規定に從ひ投票に御參加あらん事を。

民團議員豫選投票規定

一、京城民團民會議員適任者と認むる者三十名を有資格者中より選出する事

一、投票用紙は本新報に刷込ある用紙に限る事
但し投票人は無記名とす

一、一枚の用紙に認むべき議員適任者の數は五人以內たるべき事

一、投票は本社前の投票箱に投入の事尤も郵送の分は京城新報社內豫選投票掛へ宛らるべし

一、締切は明治四十四年一月二十日とす但し日々に於ける投票の結果は日々の紙上に於て公にすべし

一、總開票日締切の當日若しくは翌日とす但し其結果は本紙上に公にすべし

一、總開票立會人は追つて決定の上發表すべし

右以外必要の事は追次本紙上に廣告すべし

●白耳義總領事歸任

豫て賜暇歸國中なりし在京城白耳義總領事ブリボシャ氏は數日前歸任二十五日より執務の旨總督府に通報あり

●ボンマルシャン氏の榮轉

從來佛國領事代辨副領事たりし同氏は今回領事館通譯官見習に榮轉したりと云ふ

●信託所設立認可

豫て新築中なりし太平町一丁目南大門北へ入多田質店（電話二二二）は今般業務を擴張し更に醫務總監部の認可を受け模範的不動產信託所を開設し信用を維持し誠實を經として尤も愼重敏速に受託處理する由營業項目は左の如し

不動產放資金の運用、土地建物鑑定調査測量、貸地貸家小作田畑管理、貸地料家賃小作料の保護監督、貸地貸家田畑賣買典當仲介、家屋月賦支拂建築受託、建物動產火災保險申込取扱等也

●新刊朝鮮名勝記

今回渡邊天民二宮笹汀兩氏の共著に成る本書は十三道の名勝地を悉く網羅し詳細なる說明に寫眞を挿入したる菊版の美麗なるものなり內容は著者が現に踏杖の山河を跋涉して探りたるものなれば未だ世人に識られざる名所舊蹟の風景も尠からず且つ其史實は種々の新舊著編を涉獵して飽くまで之が正確を期したりと謂へば座右に置きて居ながら韓山の風景に接し得るは勿論春季の候半島の奇勝を尋ねんものには好個の伴侶なるべし（定價一圓本町九丁目朝鮮名勝記編纂所發行）

公人私人

▲石井權藏（大邱憲兵隊長）廿四日大邱より入京浦尾旅館へ投宿

▲本田幸介（水原模範場長）二十四日水原より入京巴城館へ

▲橋本二郞（平壤地方裁判所新義州支部檢事）廿四日新義州より入京原金へ投宿

▲水谷千萬吉（平壤鑛業所次長）廿四日歸任

▲上原辰二郞（釜山憲兵分隊長）廿四日歸任

▲關覺藏（海州慈惠醫院長）廿四日鳥致院行

▲大西政太郞（憲兵中尉）廿四日全北行

▲鵜村淺吉（憲兵中尉）二十四日鏡城行

▲篠原仁藏（憲兵中尉）二十四日公州行

▲京城手形交換高▼

十二月廿六日　枚數　四〇八　金高　一八一、一二〇、四〇

●朝鮮通信の筆禍

同社は治安妨害の廉により二十五日發行停止を命ぜらる

歲末の金融に就て（農工銀行支配人　久能省三氏談）

今年は四年來の好況を呈して居ます殊に鮮人側では大豆の値が好い所へ豐作といふのですから頗る活氣を呈して居ます大豆は昨年は三圓位でしたが今年は倍加して六圓以上七圓位になつて居ます濱江附近の大豆か麻浦へ集まる所では昨年は十二萬圓位でしたが今年は二十万圓程にもなり開城附近では昨年四十萬圓位のものが今年は八十萬圓程にもなつて居ますこれは警察制度が好くなつて自由に購買が出來るやうになつたのが重なる原因です近頃不思議な現象といふのは十月十一月頃から夏物が非常に賣れました即ち支那人の商ふ絹物類で或る支那人は此の一寸の間に四十五萬圓も賣つたといふことです是は結婚が夥くべき程增加したからです。米は內地の割合に當地ではそれ程の豐作じやないやうです是れが爲め鮮人側で近時切りに米の買占をしてるさうですが之れは果して當てるか堂ですか一体朝鮮人は以前の思想が未だ拔けませんから交通不便の時には今歲賣れなくても來春は賣れるといふ見込があるから利益もありましたが現在のやうに四通八達何時でも間に合はせることの出來るやうになつていますから夫れに鮮人は投資をしませんから買占するのは堂かと思ひます金巾紡績海產物の方で取引する人は右の譯ですから中々忙しいが日本人相手の銀行ではそうでもありますまい從て私の方では金利を上げるといふ塩梅でして今の處では誠に健全の經過で遣り繰りでない着實の商賣をするといふ次第です、此の現象を呈したのは十月頃からで夫れまでは緩漫に困つて居ました多少人氣に關係したろうが未だ公債の金は渡りませんから今の處では大豆などの購買で地方へ金が落ちる從つて輸入品も賣行が好いと云ふ有樣です江景は二万町步もあつて年に十万石以上も產出します論山では近來甚だ盛況で鮮人の多くは今では玆で米を取引します私の方の銀行でも今迄の倉庫の外に今一つ建築中で取引の需用に應じ米を預り金を貸し出して居ります云々

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（廿五日）の分　乘車客　七九三　下車客　七二〇

▲南大門驛荷扱高（廿五日）の分　發送　八六噸　到着　四五六噸　乘車賃金　二、二七四、三一　貨物賃金　五六七、七三

民團議員豫選投票

本日本紙締切迄の着票

百廿一票	秋吉富太郞
百十四票	原勝一
百〇六票	城六太
百〇三票	高橋章之介
九十五票	山口太兵衛
九十三票	釘本藤次郞
八十九票	和田常市
七十六票	關繁太郞
七十六票	中村再造
七十二票	兼古禮藏
七十一票	森勝次
六十六票	大村百藏
六十一票	松浦源治
五十八票	三好和三郞
五十四票	梶原末太郞
五十票	曾我勉
四十七票	池田長兵衛
四十七票	進辰馬
四十三票	林田金次郞
四十票	田村義二郞
四十票	大久保雅彥
四十票	石橋利三郞
三十六票	渡邊與三郞
三十六票	增田三穗
三十二票	渡邊五郞
二十九票	石井新
二十六票	近藤佐五郞
二十五票	海津三雄
二十票	古城梅溪
二十票	深水清
二十票	執行猪太郞
二十票	待井三郞
十八票	中島司馬之介

十五票田中始一郞　十三票佐野彥藏　十票小林藤右衛門、大村保太　十票阪敬明、六票牧山耕藏、四票長島富次郞、白木爲二郞　三票杉山孝平、鮎貝房之進　二票淺野長七、吉原三郞、岡崎遠光、三上林太郞、牧野豐田　以下一票皆川廣濟、井上宜久、明石元二郞、佐々木三郞、菊地謙讓、兒玉秀雄、藤原正久、菅原大太郞、藤田嗣亭、市原盛宏、國分象太郞、久芳直介、佐竹準、權藤四郞介、橫尾信一郞、楢崎[illegible]

一、武田卓爾、宇佐川一正、森山美夫、此外峯岸本社長に得票ありたれども投票關係者に付沒收す

注意

本日の着票を見るに投票者諸君が候補者を選定するに當り頗る眞面目ならざるところの者あるが如し斯の如きは本社豫選投票の趣旨に反す爾後は何卒御注意あらんことを請ふ

▲治外法權▼

此頃は寄るとさはると景氣と不景氣の話だ、記者は職業柄れ恥じい次第だが經濟圈外に居るので實を云へば景氣か不景氣かがホントーに判らぬ、ソコデ過日來外交記者を各商店及び各銀行に遣して實際の處を探つて見た▲トコロが其結果として判つたのが矢張り景氣と不景氣との兩事實で世說が景氣と不景氣との二ツに別れる源因を儲め得た▲まづ不景氣の側から紹介すると本町筋歲暮贈答品當込の各商店が種々の源因から賣行きの良からざるは事實だ、而して其種々の源因と云ふ中には無論官吏に歲末賞與の無い事や官吏に歲暮贈答を受けるなと其筋が內訓したことなども含で居る▲然らば本年末は近年稀なる好景氣だと喜んで居る連中は誰れかと云ふと夫れは多くは朝鮮人相手の御商だ、御商皆口を揃へて曰く半島は今年大豐作だ而るに內地が凶作で米が高い、大豆が高い、鮮人の百姓は兩班其他に多額の恩賜金が下がつた、鮮人たる租稅の幾部分が免除された、鮮人たるもの勢ひ購買力を增さゝるを得ないと成程聞いて見ればソウありソウな事だ▲サテ銀行側に就いて見ると第一や百三十は不景氣だと云つて居る、サテ其源因はと云ふとソレは右二店の取引者が重もに本町筋の商店なるが爲だ、而らば韓一、農工、天一、漢城等は如何と云ふに之等は何れも好景氣だ、而して其源因はと云ふと夫れは取引者の多くが、鮮商及び淸商なるか爲だ▲チヨツト判らぬのが韓銀と十八だが、段々聞いて見ると此兩店は其取引者を日鮮兩側に持つて居る、ソコで日本人側の不景氣は他所並に受けながらも朝鮮人側で持つて居る、ツマリは一方附かぬが爲めに得して居る▲斯く判じ來ると好景氣と云ひ不景氣と云ひ皆正直な申分だ、併し各申分の違ふのは自から立場の違ふ爲めだ▲此頃は當地の新聞に掲載されぬ記事で東京や大阪の新聞に載つて來るものが幾らもある、其筋の通信電報取締とやらはドウしたのか構だね、併し內地の新聞も當地の新聞もと現在の如く非一視同仁主義では困まる、夫れとも內地の新聞は恐いからヤレないかね。

▲相場電報（明治町電西村支店）

▲大阪株式（二月限）（前日後場）（當日前場）

神戶電燈　引寄　出來不申　三七、六〇

京阪電鐵同　六〇、八〇　六一、三〇

鐘淵紡績同　一〇六、三〇　[illegible]

日本郵船同　五七、九〇　九七、九〇

東京株新同　一二九、五〇　一三〇、一〇

大阪株式同　一四一、五〇

同直同　一四一、三〇〇

取引同　一三九、六〇〇　一四〇、五〇

▲大阪期米（廿四日）▲前場當月納會▲一月止十四圓五十五錢▲二月止九十四錢▲後場當月納會

一月寄五十六錢▲止（不明）▲二月寄九十五錢▲止（不明）

▲同（廿六日）前場當月納會▲一月寄十四圓五十九錢[illegible]十八錢[illegible]

▲仁川米豆取引（廿四日）▲後場十二月出來不申▲二月寄九圓八十二錢▲最高八十二錢▲最低八十錢▲止八十二錢

●同（廿六日）前場十二月出來不申▲二月寄九圓八十四錢▲最高八十五錢▲最低八十[illegible]▲止八十五錢

●滿鮮鐵道の連絡

石橋子本溪湖間の廣軌開通期に就ては既報の如くなるが之れと同時に即ち年明一月十五日より安東及奉天の兩驛に於ける一番發列車の時刻を午前四時に着車時刻を午後十時に改正されたるが之れにて奉天安東間は從來の如く草河口に一泊を要せずして僅々十八時間にて一日の內に達し得らるゝ譯なるが之れ[illegible]を經由し奉天方面へ[illegible]旅客も計り京義線終列車[illegible]乘客は直に午前四時發の一番列車に連絡さるゝに至る者也

▲龍山驛乘降客（廿五日）の分　乘車客　一九三　下車客　二三七

▲龍山驛荷扱高（廿五日）の分　發送　[illegible]　到着　一三五噸　乘車賃金　三三六、五八　貨物賃金　二四〇

相場電報

(明治町■電西村支店)

▲大阪株式（二月限）（前日後場）（當日前場）出來不申 三七、六〇

▲京阪同 六〇、八〇 ▲電鐵同 六一、三〇 ▲鐘淵同 一〇六、三〇 ▲南滿同 [illegible] ▲日本同 五七、九〇 ▲郵船同 九七、九〇 ▲東京同 一二九、五〇 ▲株新同 一三〇、一〇

▲神戸寄 電鐵引

▲大阪同 一四一、五〇 ▲株式同 一四一、三〇 ▲同直同 一三九、六〇 ▲取引同 一四〇、九〇

▲大阪期米（廿四日）▲前場當月納會▲一月止十四圓五十五錢▲二月止九十四錢▲後場當月納會▲一月寄五十六錢▲止（不明）▲二月寄九十五錢▲止（不明）▲同（廿六日）前場當月納會▲一月寄十四圓五十九錢▲二月寄九十八錢 [illegible]

▲仁川米豆取引（廿四日）▲後場十二月出來不申▲二月寄九四八十二錢▲最高八十二錢▲最低八十錢▲止八十二錢 ●同（廿六日）前場十二月出來不申▲二月寄九四八十四錢▲最高八十五錢▲最低八十四錢▲止八十五錢

滿鮮鐵道の連絡

橋子本溪湖間の廣軌開通期に就ては既報の如くなるが之れと同時に即ち年明一月十五日より安東及奉天の兩驛に於ける一番發列車の時刻を午前四時に着車時刻を午後十時に改正されたるが之れにて奉天安東間は從來の如く草河口に一泊を要せずして僅々十八時間にて一日の内に達し得らるゝ事なるが之れと同時に朝鮮鐵道を經由し奉天方面へ趣く貨客の連絡をも計り京義線終列車にて到着したる貨客は直に午前四時發の一番列車にて連絡さるゝ

▲龍山驛（廿五日）▲乘降客 一九三 ▲乘車客 三三六 下車客 [illegible] ▲發送貨物 [illegible] ▲到着 [illegible] ▲貨物賃金 二四四〇

活動寫眞　役面子

朝の南大門驛

二十六日　歳の瀬をはやみ、足下より千鳥飛び立つ如く、行き交ふ人の面にも浮世の波荒く刻まれ、何んとなく心落ち付かぬ朝ぼらけ、雪は降らねど降り足らぬ空の黒く、停車場も淋しい、

太平町島川かつと金釘流免許の腕前にヤットコサと書きつけられた新らしき行李はヨボの肩より下されたこれに引き添ふた

美形二人

其の孰れが行李の主の島川かつ子なるらんか、一人は束髪、一人は島田、融けやらぬ雪に照り映ゆる艶なる貌見た如な顔だ見た如な顔だ、馬鹿見た如な顔だは串戯で何處へ行くのか行衛か知りたい

大行李三個

は名古屋に托すべく島吉太郎と答へる、

釜山行列車は、人を待てども、寥々たる人影に其室を滿たすべき數に乏しく而して其室に入るべき人が何んとなく活氣に乏しい、あゝ年の暮だ、

午前九時四分、發車の滊笛は雪に反響して、一旦再難震、放れ去つた。

武田海軍少將

は、天眞樓の染拔半纏の車夫に送られて

新義州行の一等室

に入つた、

男の肌に乳呑兒

を抱へて三等室に案じ顔なる人を見ては、又今更に、あゝ年の瀬だと、輕き果敢なき感じが湧く、

午前九時十六分、雪を覆ふた列車は、雪多き地に入るべく搖き出した、淋しい／＼、構内は只だ僅かに赤帽と巡査とを殘して、煖爐の火が淡い、喫茶店は來ん春を飾るべく、ドアの修繕に、鉋の走れる音が、タイムを刻み込むように聞へる。

れ仲の恭悦

▽仁川一富士の仲居

電燈の光がボーッとして霧の中に輝いてゐる歩き馴れた公園ではあるが寂寞とした光景である不意に彼方に足音がして黒い姿がひよつくりと顯れた段々近ついて見ると年の頃は四十前後の女大師堂の前へ跪いて夫の病氣平癒でも祈るのが一心く祈願をして居る記者も好奇心に驅られて彼れの擧動を注意して寒さも厭はず木の根に腰を掛けた南無阿彌陀佛／＼と口の中にて二三度唱へ後の祈願を聞いて居ると夫の病氣平癒を祈るなんどと思ひの外難く勿れ財產のある親切な夫を授け給へと何度となく願を上げやがて大師堂にて御籤を引きしに來春になれば一家を持ち幸福な暮しを爲すとの御告なりしかば彼の女は飛び立つ樣に喜び勇みて歸途に就きしより是れは確かに面黒からんと尾行せしに一富士の仲居た仲とこそは知れたるより何にか深き樣子のある事と段々探りし同人の恭悦話を一寸記さんにれ仲の生れは大坂邊にて朝鮮三界は怨か浦鹽滿州と歷遊手練手管のある限りを盡し彼れの生白き手に葬られた男も數多いそうである十寸詰り仁川に流れ込み一富士の仲居となり働き居る中同樓藝妓米蝶(二五)とは前世如何なる敵同志なりしか兎角折合惡しく何時も喧嘩に花を咲かせる由なるが又た同樓に通ふ客筋もれ仲があまりしつてくするので嫌われボチも呉れぬに近頃はしみ／＼仲居が厭になり是非一日も早く世帶を持ち世話女房になりたく前記の如く大師堂に祈願せし事と判りたり話しかわつて或る時米蝶の旦那筋にて〇〇と云ふが(姓名は特に預り置く)同樓にて一杯を傾けし後れ仲を傍近く呼んで種々世間話しの末に僕の知人で年は四十八だが相當資產もあり仲々の人物なるが先年妻に死に別れ後妻を探し居る故れ前を世話してやるが嫁に行く氣はないかと眞面目な話し聞せたるに彼れは以ての外の喜にて妾し見た樣な女でも御心配下さるなれば此の上もない仕合何ふか出雲の神さま／＼宜しく願ひ申し升さ改まつて頓首再拜して引下り此れと云ふも全く大師樣の御引合せと遙に大師堂の方に手を合せ伏し拜み夫れよりは敵の樣にせし米蝶に打つて變つての御機嫌取り米蝶さん／＼さ米蝶が便所へ行けば洗水を汲んで待つて居ると云ふ程なので外の仲居の笑草となり居るも本人は更にれ氣が付かず米蝶さんわなたよりもあの方に願つて早くお嫁入りが出來る樣にして下さいと每日／＼賴み居りて昨今は嫁入仕度に身をやつし上を下への大恐悅とは知られたりとてなんでもない

寢小便はれ景物

兵庫縣神戸市雲井通り三丁目百七十三番戶生れ竹田ヒロ(十九)は十六才の當時より酌婦稼業に從事し居る者なるが何の因果か寢小便が好きで同衾の客を困らせ愛想盡かさるゝのみならず惡い事には枕探しを爲すので一軒の料理屋に二ケ月と續かぬと云ふ位此の妓去月十六日前借金三十五圓にて壽坂町料理店東京亭に抱へられしが例の寢小便と枕探しを實行し現に十一月二十九日夜仁川港萬石町居住山下南海なりと自稱登樓せし客の金十圓をチヨロマカし寢小便を景物に付けた事實を西部署酒井刑事探知更らに外二ケ所にて金品を竊取したる事まで發覺本署に引致取調の上檢事局に送られしが昨二十六日京城裁判所に於て懲役二ケ月に處せらる

奇拔な渡鮮目的

賊を働かん爲めに渡鮮せし無賴の男は其類なかるべし茲に原籍島根縣簸川郡平田町大字片原町平民無職三原富太郎(一三)は前科七犯(詐僞取財竊盜强盜其他)の惡漢なるが本年十月十五日原籍地を出發し盜賊を爲さん目的にて渡鮮し龍山本町三丁目傘製造販賣業福原豐松が曾て下之關に於て知己となりたる緣を以て同人を便り雇人となりたるも固より其意なきを以て更に近隣なる吳服行商人稻葉某の荷持人となり行商の途次各戶の戶締りの堅否を試みつゝ機會の來るを待ち斯くして十一月二十六日午後十二時頃榮町七二壘屋大山新藏裏口より忍び入り雜品價格十三圓餘を手始めに各戶を竊盜し廻はり其筋の探査嚴重なるに怖れ贓品を携帶の儘十二月十五日仁川に逃亡し寺町小山三平の周旋にて西村と僞名し表面棒職に從事し居りしを龍山警察署に於て發見逮捕し取調の上檢事局に送りたり

酌婦の借金踏損

此頃小料理店の酌婦が樓主を踏倒し逃走する者非常に多く原因は金錢の貸借は民事上の問題なりと當局者が取押へもせぬ處罰もせぬと云ふ風評に基くものならんが大分縣下毛郡深秣村生れ當時蓬萊町三丁目二番戶出水口重藏(三五)及內緣の妻たる廣嬬サヘノ(二三)と共謀して南大門外口入屋商辨舍小林某の手にて花園町料理店東雲樓に前借金八十圓にて僞名を以て本月二十二日住込みしが二十三日夜逃走せしより直ちに蓬萊町三丁目重藏方に潛伏せし形跡ありとて取り押へ方西部署に願出たるより警官出張せしに出水口等兩人は義州方面へ逃走の準備中なりしより本署に引致取調べたるに全く踏倒しの惡策なりしと被害者と示談纏りしを以て放還せりと

少女の詐欺取財

世には大それた女があればあるもの原籍は熊本縣玖磨郡人吉町六八當時龍山鐵道官舍六五の二加賀種二方下女久賀いぬゑ(十七)は鄕里の父は風呂屋質屋等を營み相應の生活を爲し居るものなるが本年八月渡鮮の上同家に雇はれたるが其性質極めて佞奸にして盛んに高等官とか技師とかの名義を以て行商人は勿論京城に於て白三越吳服店龜屋を始め龍山にては土永吳服店大阪屋其他各所にて縮緬切地帶類リボン半襟等を詐取し金額百余圓被害店數十二軒の多きに及びたるを龍山憲兵分隊の知る所となり廿六日拘引の上嚴重に取調中なりと實に憎むべき小女にあらずや

釜山の火事

二十五日午前一時釜山富平町一丁目日韓精米所機關室より出火し同精米所全部隣家一棟を燒失し更に半燒一棟(五戶)を出し午前二時三十分鎭火したるが其損害高約一万九千圓なりと

大角力の初日

國技館大角力の初日は一月十三日に內定せり(廿五日東京電報)

目こ耳 (廿七日)

▲壽座　新春初興行準備の爲め休業中なりし同座は內地各有名なる劇場に於て大好評を博し居る片岡松十郎一座を坂地より招き廿八日當地に乘込み元旦早々より花々敷く開演するとの事なれば定めし大入繼きなる可く尙初日よりの藝題は左の通り

初日(壽三番叟引拔だんまり、前切新木作肥後の駒下駄、一の谷嫩軍記)二日目(四季模樣不火物語)三日目(男の中の男一疋俠客春雨傘)四日目(大阪陣灘波戰記)五日目(蝶千鳥曾我の成長)

▲歌舞伎座　同座に於ても正月初舞臺には男女優混合嵐璃笄一座にて開演の事なれば亦見ものなるべし

●樂しいクリスマス　二十五日午後二時より天一銀行の階上で日曜學校のクリスマス祭があつた渡邊法務院長の新禱に次で小供や大人の大入なりといふウオルド、ローズの詩句を引ひた人谷牧師の開會の辭があるプログラム約三十幾番もかわる／＼演壇に登つて愛らしい態度で演說暗誦讚美歌をやる中々面白かつた中にも愛の組の田幡寧子さんといふ五六才の小女がエンゼルのやうな態度で五分間も演說をした中々見事なもので後生恐るべしと思つた會衆は僅かに一種のインスピレーションに打たれたろう終りに平和の組が各國のクリスマスといふをやつて大喝采三宅直子さん外二人の可愛い孃さんが無欠席の賞與を貰ふプレゼントがある中々賑かであつた渡邊法務院長は橫濱時分から熱心なる信者で何處へ行かれても院長と家族の方で見へぬことはない生徒の献金が十五圓程で貧民へ遣る積りで民團へ紹介したら京城には貧民といふものがないの回答であつたとかれかしな話である閉會は午後五時で門を出れば淋しい朝鮮にもこんなパラダイズがあるかと思つて記者も主エスに感謝せざるを得なんだ(五洲生)

▲平民文庫▼

▲去る日の事である仁川寺町耶馬溪の福助拍子電話器の前に立つて兩眼より牛の涎の如な淚をダラリ／＼と流して居る▲マ可愛相に質の利上げでも催促され言ひ譯けなさにアノ始末か高の知れた聰來藝妓質にだつて滿足なもの〵入れてある理由もあるまいされば利息だとて五十錢には足りぬ附に相違なし僅かの事なら立て替へて遣らうと親切な男が尋ねて見ると▲猫島の松山樓の藝妓の弗旦某を福助が橫取りしたと松山樓の親爺に告げた者があるので親爺が眞赤になつて怒り出し電話で惡口言はれたので夫れが口惜しさに右の始末▲福助曰く此れけ多分稅關の池田さんが言つたに違ひない妾が武士の事なら腹を切つて見せるのだが殘念ながら平民の子で夫れも出來ないのが殘念だア殘念だア▲だとサ(實見生)

今日の運勢

十二月廿七日(舊十一月廿五日)一白大安丙寅滿△一白 新事旅行見合せの事盜難破綻離間の恐れあり婚談合同結社凶△二黑 不如意の事多し談合商議新事婚談旅行轉住見合せの事△三碧 散財多き日なり其他通運の日なり旅行中裁紛議解決に好良△四綠 離間破綻起り易し他は大抵吉請願訴訟談判に妙△五黃 新事見合せの事盜害紛爭及保證受印を避くべし△六白 利得援助あるの日なり大凡吉履入れ兒女の事を擧ぐるに妙△七赤 親族家庭の事多少の煩累あり其他靖寧△八白 離齬遲滯多し諸事謹愼の事盜害橫領防ぐべし△九紫 視察商議調查設計豫約の外控へ目たるべし農林業に吉(三、銘判斷)

●諸公債諸株券 賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業 諸官衙御用達

京城本町三丁目 大坂野村德七代理店

田中友吉商店

電話九三九 電略(タ)

▲米國式實用時計新提供

▲皇室御用御光榮品

特價 金三圓八十錢



純洋銀側 形態斜子側 裏蓋パチ付 頭巻器械硝子 寶石數入アンクル 式四十時間精確 持續卅年保險證付

御注文はハガキにて申込あれ代金引替 小包として迅速發送申上候全國送費無 料御前金は特に船來鎖進呈郵券代用一割増

東京市本所區松井町三丁目

石橋時計店

振替口座東京八三二九番

謹 四十四月月割判斷錄。易斷と幹枝九星、嚴至誠の精理より推斷し月々の運氣方位進退事故病傷盛衰發育創業改革移動の有無利害

京城本町五丁目 三一館

地方人士は右鑑定料一圓五十錢九錢及業務年齡通知を要す

日本の三大賣藥

懐中良藥

新藥

朝鮮代理店 京城南大門通 新井藥房

瓦斯コークス販賣

京城南山町三丁目百十四番戸

酒井組

電話一一四九番

質

京城旭町一丁目度支部官舍向 側橫路突當

旭町二丁目府廳裏路山突當

壚見質店

◎貸金

旭町二ノ一五別府組車帳場筋向小路 高橋

有給者にて極秘密に低利融通可申候

◎景品付賣出界の福音!!!

京城本町二丁目日希商會にて買御買上相成り景品券を得られ候顧客樣の内第一等に御當籤相成りたる方へは謝意を表し特に英國製

ウイスキー 一打入一函

進呈可仕候

本町二丁目

日希商會

電話二二三

各位

商品券は

安東縣、平壤、仁川、大田、龍山の各地に共通仕候

歲末歲始の贈答品として

最も高尚に最も優美に而かも最も衛生的なる進物用として

世界酒中之王金釜。銀釜の各種瓶詰を提供仕候

滿韓特約店 京城本町壹丁目

三巳商會

電話七五三番

諸官衙御用品……無鍵安心火止石油販賣

石油各種鑛油各種 御部

炭、薪、酒、醬油

日用食料品一式 小賣部

京城南山町一丁目百十四番戸

奈良屋商會

電話六八八番

山口吳服店と歲末

◎弊店義聯合大賣出し加盟致し居候に付規定の景品券進呈仕候外に

◎來る十六日より卅一日迄現金に限り平素の御愛顧に酬ゆる爲め御買上げ金高に應じ破格の御添物進呈可仕候間特別の御引立御來店被下度奉願上候

◎御進物用御便宜上吳服券をも發賣仕候

●遠方よりの御注文は男物並に女物年齡柄向等御申越し被下候得者早速代金引換へにて御送り可申上候萬一不向きの節は幾回にても御取替へ可申上候

●追而見切反物並に釣切類は御添物無之候

君か代足袋發賣元

京城本町四丁目

山口吳服店

長電話九番

歲の市大賣出し

開業御披露

牛、鳥すき燒

安直と美味の特色を以て左記の所へ開業致し候間四方の御客樣一度御來駕あつて御試味の程希上候

明治町二丁目二階

勸商場 大和家

景品附大賣出

御歲暮用品荷着

勅題模樣半ゑり類一式

男女羽織紐類

其他いろく

京城明治町一丁目

ゑ里德

(電話一四〇九番)

謹告

例年之通り伊勢神宮大麻及四十四年度曆本頒布被致候條此段謹告候也

明治四十三年十一月 日

神宮奉齋會禮部補 京城旭町三丁目 城山春吉

小職儀神宮奉齋會朝鮮本部より神宮大麻及四十四年度曆本頒布方任命せられ候條本日より各地方共頒布仕候間併せて謹告候

神宮奉齋會朝鮮本部

旭町三丁目(電話九五一番)

禮部補 城山春吉

本品は貧血症、病及肺病及之れに類似の消耗、衰弱、神經症、病後恢復期等の補劑として卓効あるのみならず下痢に對し特効を有す

大瓶二圓 四十錢 小瓶一圓 送料八錢 ▲說明書は委細無代贈呈す

横濱市境町

合資會社友田商店

振替口座東京一九三八番

朝鮮代理店 京城本町郵便局前

山岸天佑堂

振替口座朝鮮二〇三番 電話三七二番

齒科治療

本町六丁目(新そば橫町)

ドクトル 中安子

女子見習募集委細面談

(電話一五八三)

室内裝飾

歐米繪畫及額緣

萬朝報 耐運

標準かるた

新年娯樂

家族合せ

新年娯樂

百人一首歌かるた

大小各種着荷 上金十錢金參十錢 數百種以上

請各種札 取札、金五十錢 四十錢 郵稅金五錢

一組金十五錢 金四錢 郵稅

一組金四十錢 金參圓まで 數十種着荷

京城本町二丁目

日韓書房

電話一五四 振替一一五

高等滋養強壯牛乳

京城南大門外

韓國畜產會社

電話八八番

笠齋流割烹

す津祢

南山町一丁目

電話千五百二番

裁縫割烹教授所

規則書御入用之方は郵券二錢封入之事

京城大平町(神田組前)

野村さわ

(電話一四二〇番)

●内科小兒科

●外科花柳病

入院隨意

京城旭町三丁目

十全病院

電話七三七番

蒸滊消毒牛乳

京城青葉町五十番戸の一

廣養舍

細川牧場

(電話一三六六番)

純良消毒牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話千六十九番

廣島かき料理

名物並にかきめし

京城永樂町二丁目(赤門前)

幾代

電話千九十二番

生かき小賣致候に付多少に不拘御一報次第持參可仕候間御用命奉希候

見落給ふな

特別大景品附大賣出し

今般聯合大賣出の擧に座し當商會も加入罷在候間得ば倍舊の御厚情に預り度爲多年御愛顧にむくゆる爲め特別左の規定を設け大々的大賣出仕候間機を見るに敏なる賢明諸彥陸續御來求あらん事を伏希仕候

金口賣各種

葉卷賣各種

デーエス パ子レス商會

特別規定

當商會より差出せし聯合景品券(當商會スタンプ押捺あるもの)にて左記當籤者には下記の特別景品を呈す

一等、當籤者へは金口賣四千本 二等、當籤者へは同樣一千本

三等、當籤者へは同樣六百本 四等、當籤者へは同樣五百本

五等、當籤者へは同樣三百本 六等、當籤者へは同樣二百本

七等以下三十等までの當籤者へは各百本宛三十一等以下四十等までの當籤者へは各五十本宛

期日十二月十日より同月三十一日まで

(注意)贈與期限りあれば至急好機を逸せられざるは諸君の賢なる處なり

右歲末年始贈品に適當に付多少共御用命願上候

聯合賣出加盟

破額の廉價

十二月廿日ヨリ卅一日迄

本場秩父縞

縞類

絣類

五圓均一

其他珍柄取揃へ申候

ちゝぶや

明治町一丁目

關根出張店

(電話四三)

國譽足袋は

裁縫緻密にしてつよくて恰好よく内地は素より海外迄も高評を博しつゝあるは是れ本國の譽なり

◎販賣店は各地到る所有名なる吳服店及雜貨店にあり御買上ノ際は(國譽)印に御注意を乞ふ

大阪南本町四 秋田製造

特約店

京城本町六丁目

今富國商店

電話三〇八番 電略(ク)

謹告

一弊商會儀左記の品々極めて薄口錢を以て誠實に直輸入の御契約可申上候間數量の多少に拘らず下名迄御談合被下度願上候

一、佛國レロイ會社壁紙、金具其他建築材料一切

一、洋反物類一切、藥材及諸器械

一、自轉車、自動車、銃砲類、諸雜貨、裝飾用品一切

一、空中飛行機類、活動寫眞機類

右何れも見本品多數備付居候尚高尚優美なる壁紙多數持合有之候

京城大漢門わき

エル、ロンドン商會

(電話九九五番)

吉岡信太郎